年度	令和5年度			(参考) ──関連する総合計画に	・文化芸術活動(鑑賞を含む)を行う市民の割合 ・文化的な環境への満足度 ・観光入込客数
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	文化政策課	おける政策指標	、 ・障がいを音数・ ・障がいを理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合

作成日	R5.5.19
評価日	

○:達成 △:一部未達成 ×:未達成

Г		組織目標			 指標		1 ++	、IIn 4D / 市 来 \			
ı		祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖 祖			指標 [		土化	取組(事業)	評価	目標達成状況	<b>△</b> 後の士和
	No. 総合計画(実施画)上の位置づ			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要	計個	日保達成状况	今後の方針
		市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を充実させます。	政策2-1-①	者数			新潟市美術展開催事業 にいがた市民文学発刊事業	美術を愛好する市民の創作作品を発表する場として「新潟市美術展」を開催します。また、文芸活動の振興を図り、創作意欲を高めるため、文芸作品を募集・審査し、「にいがた市民文学」を発刊します。			
		次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実させます。	政策2-2-①	オーケストラはキミ のともだち ・参加者数 ・アウトリーチ 実施校数	2520人 (R4度2,376人) 45校 (R4度20校)		子どものための芸術文化体験事業	日頃、文化芸術に接する機会 の少ない子どもたちに鑑賞・体 験機会を提供するため、プロ オーケストラによる演奏会など を開催するほか、小学校への アウトリーチを実施します。			
	Z		<b>以</b> 束2-2-①	参加者の文化・歴史関連の活動回数が増加した人数の割合	50%		ラム体験事業	本市の文化や歴史などへの子どもたちの興味・関心を醸成するため、小学校高学年の児童を対象に、まちなかの文化・歴史に着目したツアー形式の体験プログラムを実施します。			
	3	みなとまち文化や踊り文化、マンガ・アニメ文化、鉄道文化などの人を引きつける特色のある文化をさらに磨き上げ、観光や産業、まちづくり分野などの振興に役立てます。	政策2-4-①	マンガ・アニメを活用したまちづくり構想第3期の策定	策定		マンガ・アニメを活用したまちづくり構想第3 期策定事業	マンガ・アニメを文化施策として進めてきた本市の取り組みについて、業界の動向や関係者のニーズを踏まえ、マンガ・アニメの「楽しさ」だけでなく「教育」や「産業」の観点を重視した「マンガ・アニメを活用したまちづり構想第3期」の策定をします。			
	4	国際交流、福祉、教育などの分野と連携・協働し、相互理解や豊かな表現力が地域で育まれるよう、多様な価値観を包摂する文化芸術特性を幅広く活用していきます。	政策2-4-②	文化芸術による共生社会推進事業への障がい者施設等の参加件数	(令和4年度43		文化芸術による共生社会推進事業	障がい者施設等と文化芸術団体の交流支援などを通じて、障がいのある人とない人との相互理解を深める環境づくりに取り組みます。			
	5	本市の文化芸術振興の基本計画である「文化創造都市ビジョン」の計画期間が令和5年度に終了することから、近年の社会状況の変化や変動を踏まえた新たな計画を策定します。		新潟市文化創造都 市ビジョンの策定	策定		文化創造都市ビジョンの策定	令和3年度から準備を進めてきた次期ビジョンについて、策定の総仕上げとして、市民や関係者など多くの方からのご意見を聞きながら丁寧に策定手続きを進めていきます。			
		適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部 統制制度による事務ミスや不正の 発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制の整備上 及び運用上の不備 件数			内部統制の推進	内部統制制度に基づき、PDCA サイクルを機能させ、事務の適 性執行の有効性・実効性を高 めていきます。			

年度	令和5年度			(参考) -関連する総合計画に	    文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	新潟市美術館	おける政策指標	

作成日	R5.4.23
評価日	

〇:達成 △:一部未達成 ×:未達成

	組織目標			指標		主な	いない (事業)			
No.		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要	評価	目標達成状況	今後の方針
	展覧会やイベントの充実、ショップ設置などで魅力を高め、利用者を増やし、来館者満足度の向上を目指します。	政策2-1-①	・入館者数(人)	55,000			・年間4本の企画展とコレクション展を開催するとともに、関連する各種講座等を開催します。また、ミュージアムショップやカ			
		ыж. 2 Т ()	・来館者アンケート (5点満点)	4.4			フェとの連携を通して、来館者 の満足度を高めます。			
	学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。		・学校連携事業や 教育普及事業等の 実施回数(回)	37			・アートリップや子どもスタンプカードを実施します。また、美術講座、実技講座等を開催します。			
	新規来館者数を増やし、リピーターを獲得するための仕組みづくりや、運営の工夫で収益の向上を目指します。	行財2-1-①	・あっちも割利用観覧者数(新津美術館の企画展観覧券半券提示により、市美術館の企画展を団体料金で観覧した人の数)	180			・新津美術館との相互利用の 促進するとともに、西大畑旭町 文化施設協議会との連携や SNSなどの活用を通して、新規 来館者増を目指します。			
	職員等に職場研修を行うととも に、館外研修に職員等を積極的に 派遣し、資質向上を図ります。	行財1-4-①	•研修受講者数(延 人数)	25		·調査研究事業	・財務・文書管理等の研修参加 の他、著作権等学芸に関する 専門研修への派遣を行いま す。			
5										

年度	令和5年度		(参考) 関連する総合計画に	 	作成日	
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	おける政策指標	人に玄州石勒(短貝百号/で1) がはいから	評価日	

作成日 R5.4.23 評価日

O:達成 △:一部未達成 ×:未達成

		組織目標			指標	_	主な	な取組(事業)			
1	lo.		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要	評価	目標達成状況	今後の方針
	1	展覧会や関連催事の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提 り、優れた芸術に触れる機会を提 供することにより、多くの市民から 親しまれる美術館になることを目 指します。	政策2-1-①	(,)	90,000			企画展、その他の展覧会、 ミュージアムコンサート等を開催します。			
		学校や地域等と連携し、子どもを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-①	普及事業の実施回数(回数)				美術講座、出前美術館、博物館実習及び職場体験の受入等を行います。			
		報道機関との協働により、お互い のノウハウを生かした魅力ある展 覧会を開催し、収益を意識した運 営を行います。	行財2-2-②	実行委員会方式の 企画展における決 算の収支比率(%)	130%		実行委員会方式による企画展の開催	以下の企画展を開催します。 ・平山郁夫が描く世界遺産展 ・生誕140年ユトリロ展 ・ブラチスラバ世界絵本原画展			
	4										
	5										

年度	令和5年度		(参考) 関連する総合計画に	<ul><li>・観光入込客数</li><li>・地域の文化的な環境への満足度</li></ul>	
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	おける政策指標	・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合 	

作成日	R5.4.1
評価日	

		組織目標		指標			主な	に取組(事業)			
N	о.		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要	評価	目標達成状況	今後の方針
1		新潟市の歴史・文化の特性を物語 る文化財を着実に次代へ継承でき るよう、関係者と連携・協議しなが ら計画的に保存に向けた整備や 調査を行います。	政策2-3-①	·文化財保護調査 件数	60件		·旧齋藤氏別邸庭園 保存整備事業 ·旧笹川家住宅保存 整備事業 ·文化財保護調査事 業	<ul><li>・旧笹川家住宅整備事業の実施(整備基本計画策)</li><li>・文化財の調査等</li></ul>			
2		国民共有の財産である埋蔵文化 財が適切に保護されるよう、各種 開発事業に即した保護協議を行い ます	政策2-3-①	・県営ほ場整備に伴 う試掘・確認調査	県要望4地区 計300ha		・試掘・確認調査(開 奈事業) ・試掘・確認調査(ほ 場整備事業)	·県要望4地区計300ha			
3		各施設における様々な展示等を通じて、本市の歴史や特色を広く発 じて、本市の歴史や特色を広く発 信し、交流人口の拡大を図ります。	政策2-4-①	-入館者数(人)	歴史博物館 77,000 旧小澤家住宅 14,000 新津鉄道資料館 47,000		·博物館管理運営事業 ·旧小澤家住宅管理 運営事業 ·新津鉄道資料館管 理運営事業	・歴史博物館 「長井雲坪」展、「川村修就と 新潟」展、むかしのくらし展、各 種講座等 ・旧小澤家住宅 「新潟歴史玉手箱」展、「新潟 の料亭・器展」、「桜井進一氏 写真展」、各種講座等 ・新津鉄道資料館 「開館40周年記念 鉄道の街 にいつ展(仮)」等			
4	1	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部 め、コンプライアンスの徹底、内部 統制制度による事務ミスや不正の 発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制運用上の 不備報告件数(件)	0		公平・公正な入札事務 等の実施	内部統制制度におけるリスク 管理を基に、日々の会計処理 においてダブルチェックの徹底 等により、内部統制運用上の 不備発生を防止します。			
Ę	5										

組織名(部) 文化スポーツ部 組織名 歴史文化課 文化財センター おける政策指標 評価日	年度	令和5年度		(参考) -関連する総合計画に	・地域の文化的な環境への満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R5.4.1
	組織名(部)	文化スポーツ部				評価日	

	組織目標		指標			主な取組(事業)				
No		総合計画(実施計画)上の位置づけ		R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要	評価	目標達成状況	今後の方針
	文化財センターで多様なの企画展や講演会、現地等を開催するほか、学校・出向いて講座等を開催し、財に対し関心・理解を深め	説明会 や地域に て、文化	・文化財センター入館者数(人)	8,000		・各種講座の実施	・企画展及びそれに関連する 講演会を開催します。 ・民俗講座などの各種講座等 を実施します。			
1	だけるよう努めます。	政策2-3-①	·遺跡発掘調査現 地説明会参加者数 (人)	200 茶院A:120 土居内: 80			・当該年度における遺跡発掘 調査の成果を示す現地説明会 を開催します。			
			·遺跡発掘調査速 報会参加者数(人)	160			・当該年度における遺跡発掘 調査の成果を報告する速報会 を開催します。			
			·各種出前講座参加 者数(人)	1000		・出前講座の実施	・学校等からの依頼に応じた各 種出前講座を実施します。			
2	国史跡古津八幡山遺跡の認知 度を高めるために各種イベントを 開催するとともに、企画展や講演 会等を開催し、史跡の理解を深め	ベントを や講演 ホケッ・ ③	・史跡古津八幡山 弥生の丘展示館入 館者数(人)	30,000			・企画展及びそれに関連する 講演会を開催します。			
	ることに努めます。	     	・各種募集イベント 参加者数(人)	200		・各種募集イベントの 実施	・発掘体験などの各種募集イベントを実施します。			
3	本市の貴重な文化資産 跡や遺跡を適切に保存・ ため、発掘調査におけるI 計と公平・公正なや入札を 市民に信頼される市政の めます。	舌用する   E確な設   E実施し、 行財1-1-①	・内部統制運用上 の不備報告件数 (件)	0		·史跡古津八幡山遺跡確認調査事業 ·埋蔵文化財本格発掘調査事業	・確認調査及び発掘調査において正確な設計と公平・公正な入札を実施します。			
4										
5										

年度	令和5年度			(参考) -関連する総合計画に	・地域の文化的な環境への満足度	作成日	R5.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歷史文化課·文書館	おける政策指標		評価日	

		組織目標			指標		主た	主な取組(事業)			
N	lo.		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要	評価	目標達成状況	今後の方針
		文書館で保存する歴史公文書 等を市民共有の知的資源として、 適切に保存・利用提供します。		利用提供数(件)	230		施	文書館の事業内容を周知し、 特定歴史公文書を適切に市民 の利用に供します。			
	1		政策2-3-①	個人宅等への資料 調査の件数(件) ※寄贈手続きも含む	5			文書群台帳の中から選択して、資料調査を実施していきます。また、寄贈等の問い合わせに対しても、積極的に対応していきます。			
				特定歴史公文書の 事前審査を行った 回数(回)	15		前審査の実施	簡易閲覧の資料を増やすため、機会を捉えて、特定歴史公文書の事前審査を行います。			
	2	本市の歴史や歴史に関する資料等に興味をもってもらえるよう、歴 等に興味をもってもらえるよう、歴 史講座の開催や文書館が所蔵す る資料展示により情報を発信しま す。	政策5-2-②	講座の開催回数 (回)	10		やすく参加しやすい講 座の計画・実施	昨年度のアンケートを講座実施計画に活かし、より参加しやすい講座にします。内容については、各担当が十分に吟味し、プレゼンや配付資料を工夫していきます。			
		教職員や児童生徒に、文書館を (施設として、職員を、所蔵資料を) 活用してもらえるよう、学校との連 携を強化します。		学校の授業・校外 学習等で文書館を 利用する学校数 (校) ※職員の派遣も含む	4			文書館と学校の連携促進を 図るため、学校向けの広報紙 を作成し、市内各学校へ送付し ます。加えて、校長会等の場を 活用した情報発信も行います。			
	4										
	5										

年度	令和5年度		(参考) 関連する総合計画に	・週1日以上スポーツをする市民の割合  ・スポーツ環境への満足度
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	おける政策指標	

作成日 R5.5.19 評価日

〇:達成 △:一部未達成 ×:未達成

	組織目標		指標			主な取組(事業)				
No		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要	評価	目標達成状況	今後の方針
1	スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。	政策3-1-②	市内のスポーツ施 設利用者数(人)	2,720,000人		スポーツ施設管理運 営委託費	指定管理制度により所管する スポーツ施設の管理運営を行い、各区所管課、指定管理者 や関係機関と情報交換・連携し ながらスポーツ施設の利用促 進を図ります。			
2	新潟市の持つ魅力を活かした、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントの開催により、スポーツを通じた交流を推進し、地域や経済の活性化につなげます。	政策3-3-①		・マラソン 12,400 ・シティライト 750			①フルマラソン、ファンランに加え、年齢やがいの有無ユニバーサルラを実施する種は、ことで、する。また、当などの必要を関いて、本市のでは、ます。また、当のでは、大田の水では、大田の木の水では、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのりが、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのりが、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのは、大田のいのりが、大田のいのは、大田のいのは、			
3	将来の活躍が期待されるジュニア選手の育成・強化や、指導者の育成・ 資質向上、障がい者の競技スポーツ の普及促進を図ります。	政策3-2-①	障がい者スポーツ 全国大会等参加激 励金支給件数	6件			新潟県とともに新潟県障害者 スポーツ大会を開催するほか、 全国大会への選手派遣を行う など、障がい者スポーツの競技 力の向上を図ります。			
4	地域経済の活性化につながる施策・ 事業を重視することで、市税収入の 増加を図るとともに、広告収入やふる さと納税など歳入拡大に努め、安定 した財政運営に必要な財源の確保 を図ります。	行財2-1-①	①広告事業効果額 ②実施校	①1,200万円 ②64校 (2,269 人)		推進 ②氷上スポーツ体験 学習推進事業(ネーミ	①公共施設のネーミングライツの推進により歳入の継続(拡大)を図ります。 ②アイスアリーナで小学生等に 氷上スポーツを体験してもらうことで氷上スポーツ変好者の 底辺拡大を目指すとともに、 ネーミングライツの魅力向上を 図ります。			